

追放された

魔王と共に

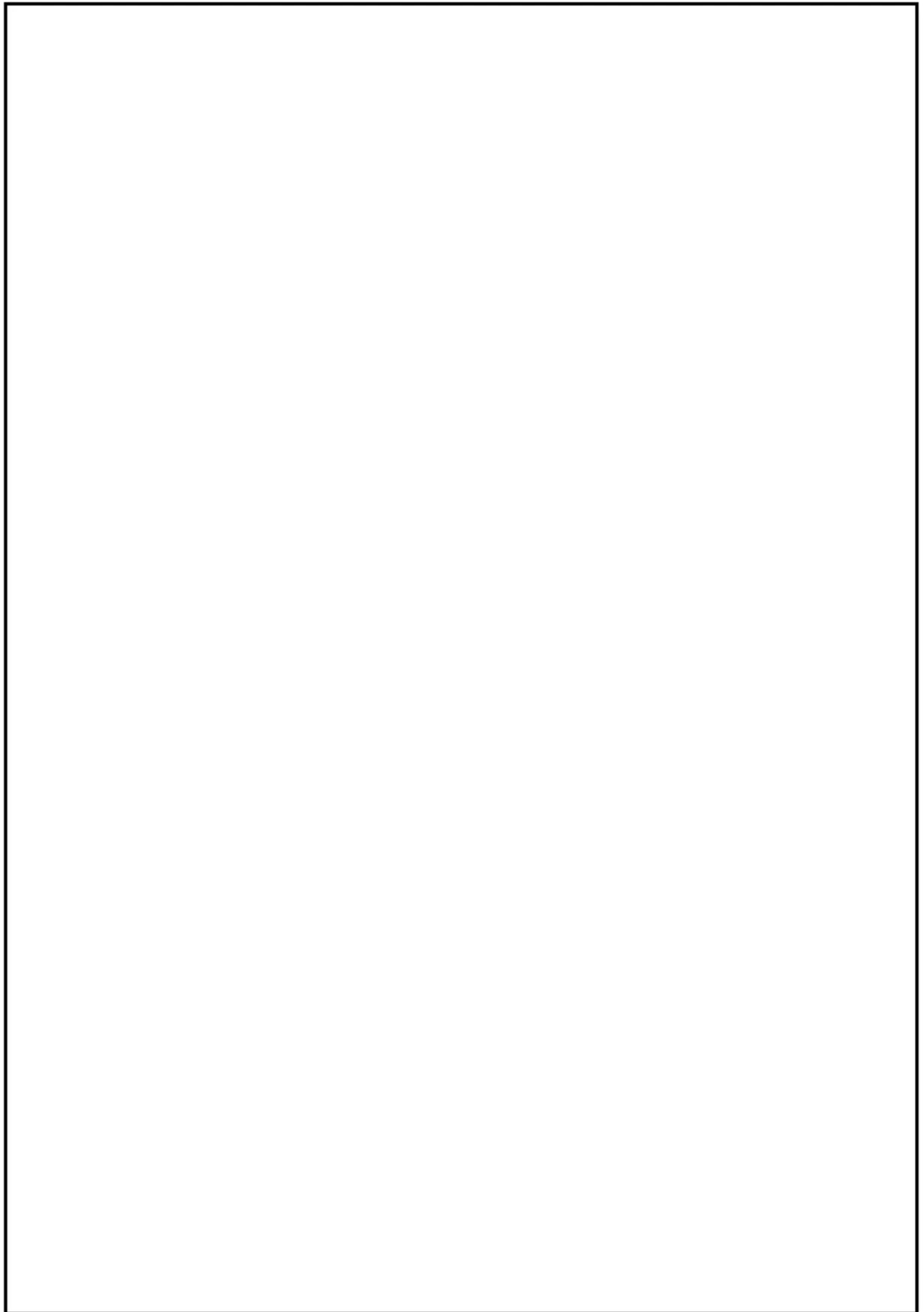
令嬢は

復讐

する

ep.1



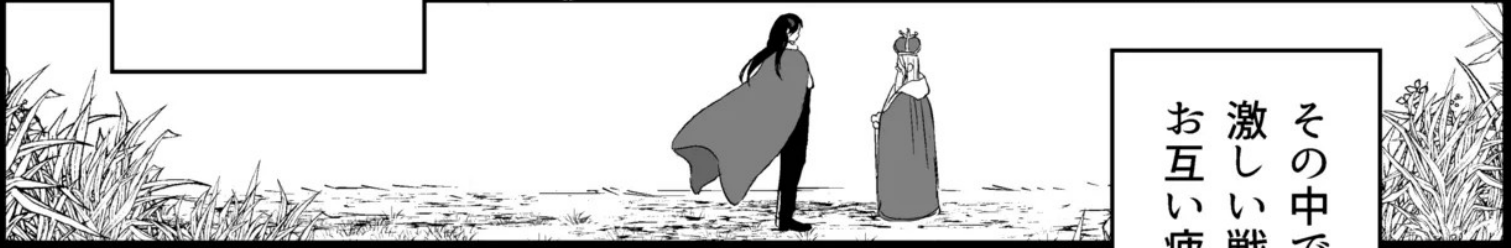




魔王が統治する魔王国  
エルフが統治するエルフ国

人間が統治する王国

アクリナ大陸は  
この3国によって  
長年均衡を保っていた



その中でも王国と魔王国は  
激しい戦火によって  
お互い疲弊し

300年間の  
侵攻不可条約を結んだ



— 100年後

お父様もどうしたんだろ…

今回は特別なんだ

パーティなんて  
いつもは参加しないのに

こんな場所  
初めて来たけど  
場違いすぎるよ…

早く帰りたい…

まあ此処で大人しく  
時間をつぶして

男爵の娘

令嬢 セレナ

ドレスが…!!

なんだ

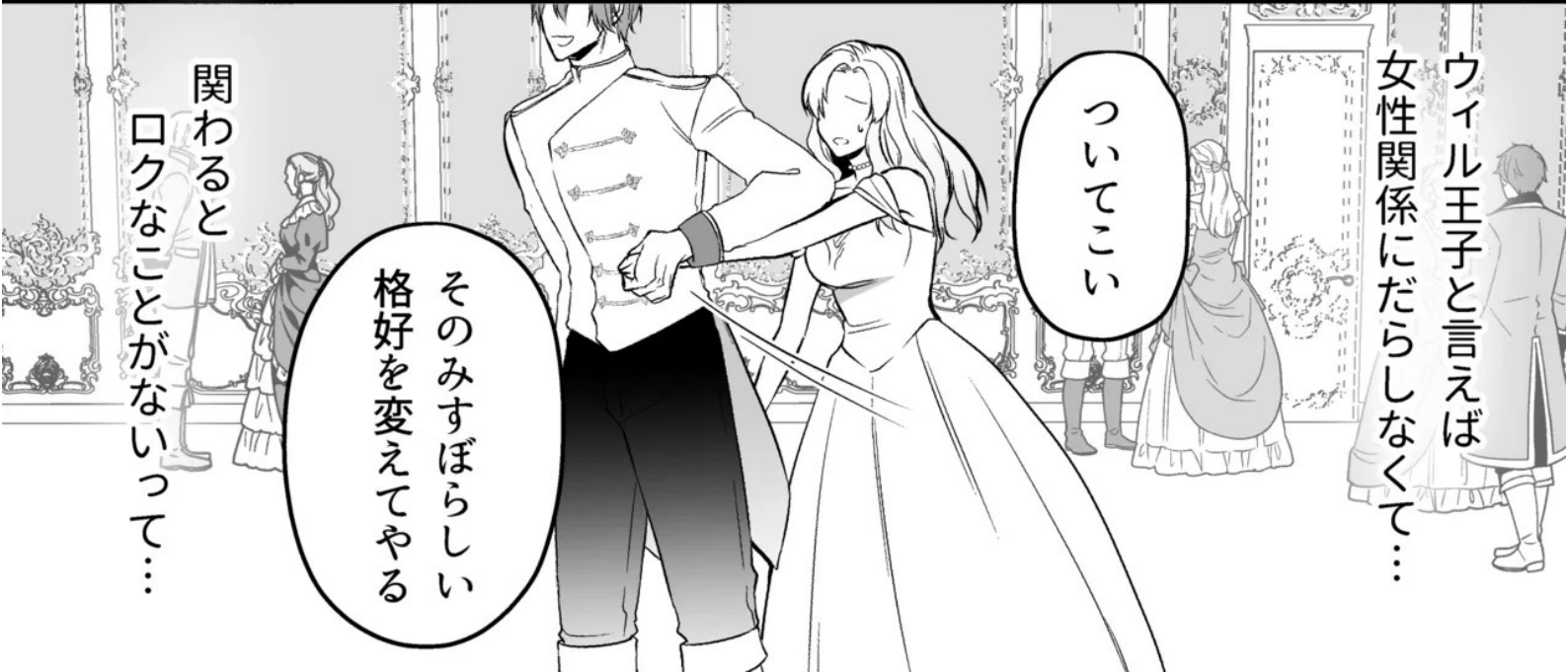


美しい娘も  
いるじゃないか

ウィル王子…!?

俺の女に  
ふさわしい

王国の王子  
ウィルフレッド



ウィル王子と言えば  
女性関係にだらしなくて…

っいでっい

そのみすぼらしい  
格好を変えてやる

関わると  
ロクなことがないって…

エロのままだと私

お父様っ！

あの…っ！

何されるか

もしかして



お父様…

このために  
私を連れてきたの  
—  
？





何…この部屋…

お前達は

早く出ていけ

私以外にも  
女の人が沢山…



噂は本当だったんだ…

今日から此処が

お前の部屋だ

部屋のモノは  
好きにすればいいが

外には出るな

え…

お前のような  
低い身分の令嬢が

この俺の  
女になれるんだ

光栄に思え

王子!!

王子様ですか

王がお呼びです——っ!!

国王からの話—？

わかった  
すぐに行く

内容は分からないけど

大人しく  
待っているよ

…もし逃げれば  
どうなるか分かっているな

おい

助  
か  
っ  
た  
！  
！  
！

それと  
俺が戻るまでに

その汚い身なりを  
洗っておけ

戻り次第  
すぐに抱いてやる

分かったな

タ  
ッ

王子が出てから  
もうかなり経つ…

はあ…

カキヤン

王子の女になんて  
なりたくはないけど…

此処から出ても  
きっと誰も助けてくれない…

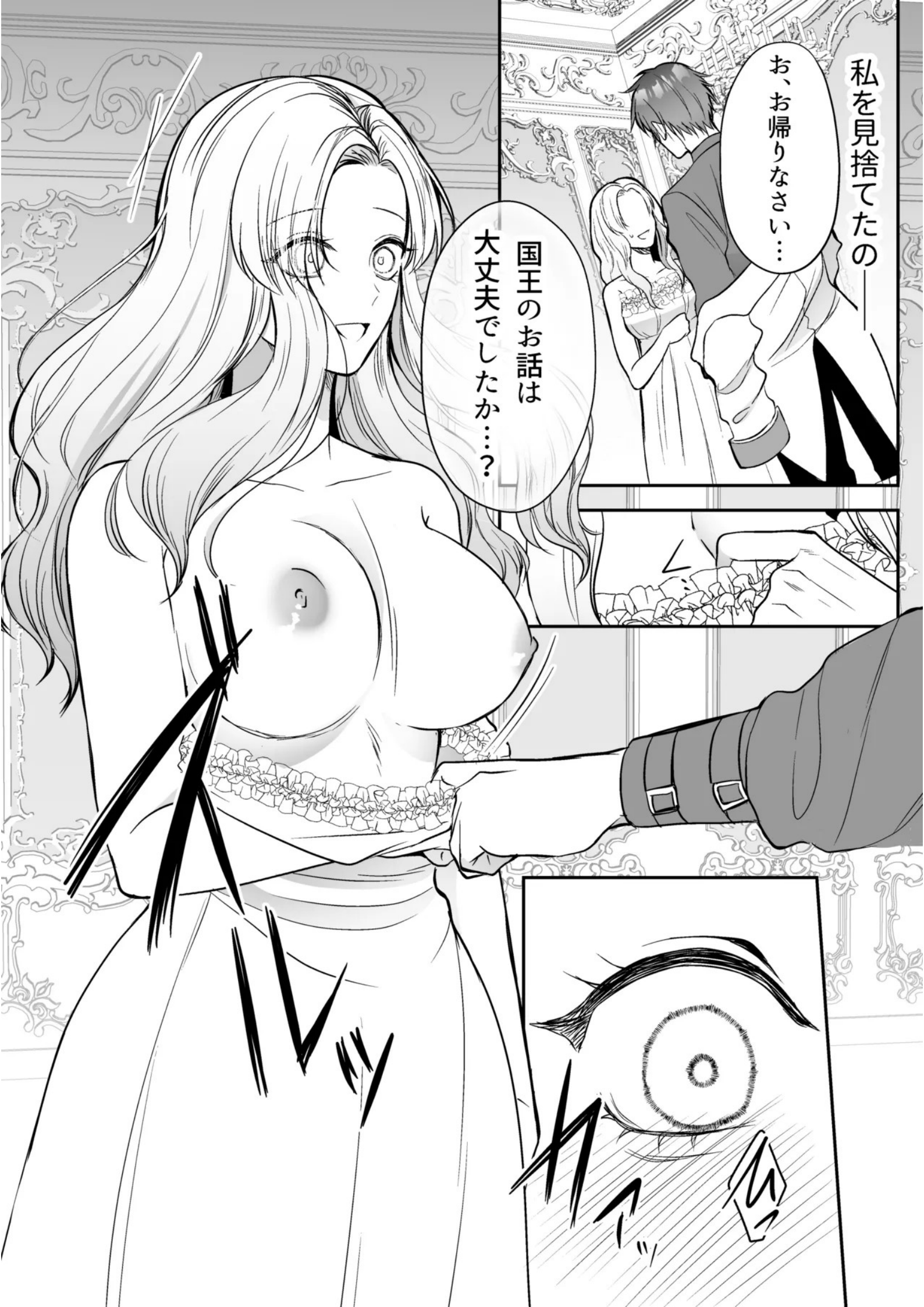
この後私は王子に…

戻り次第  
すぐに抱いてやる

…お父様どうして

ギク

カキヤ



私を見捨てたのー

お、お帰りなさい...

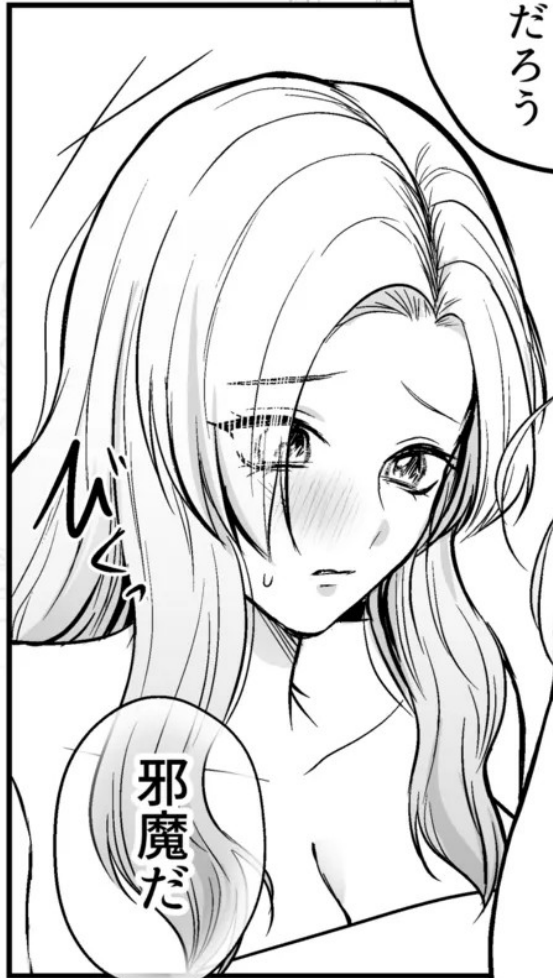
国王のお話は

大丈夫でしたか...?





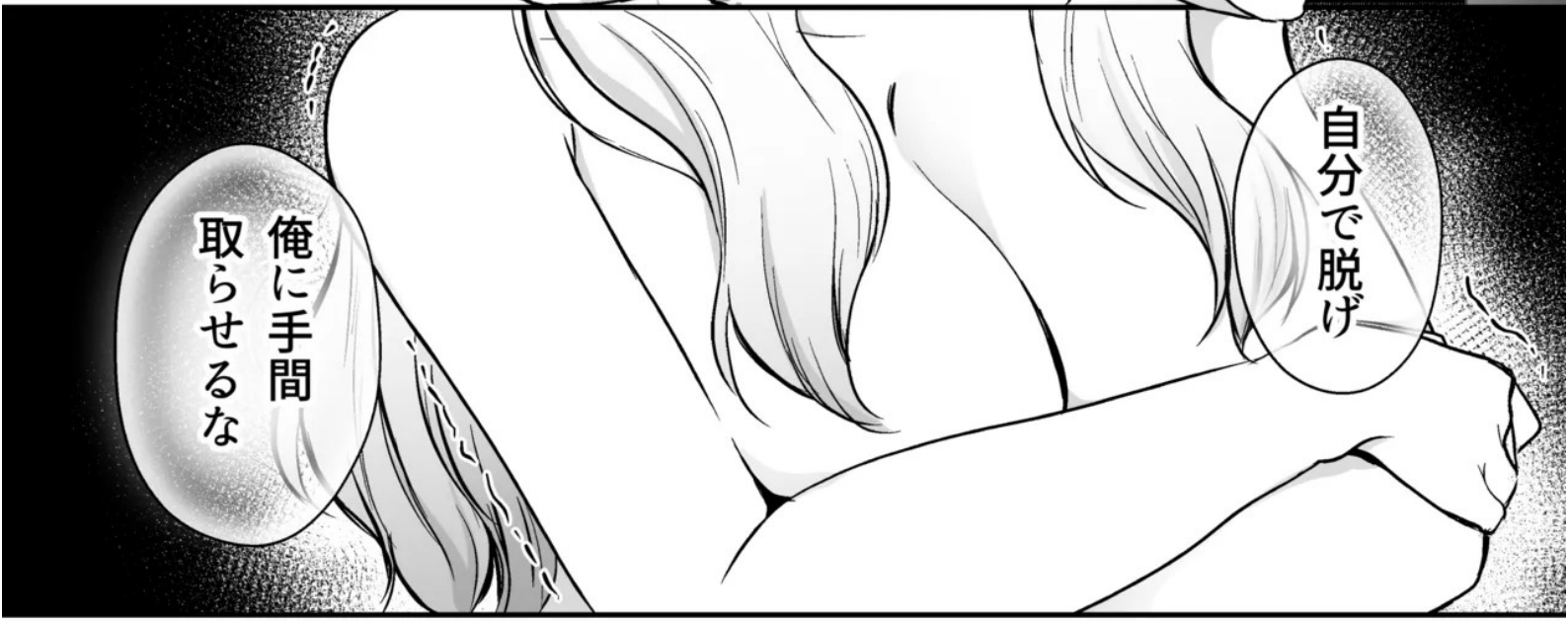
戻り次第  
抱くと言っただろう



邪魔だ



何故そんなものを  
着ている



俺に手間  
取らせるな

自分で脱げ

…はい

そのまま  
そこに手をつけ

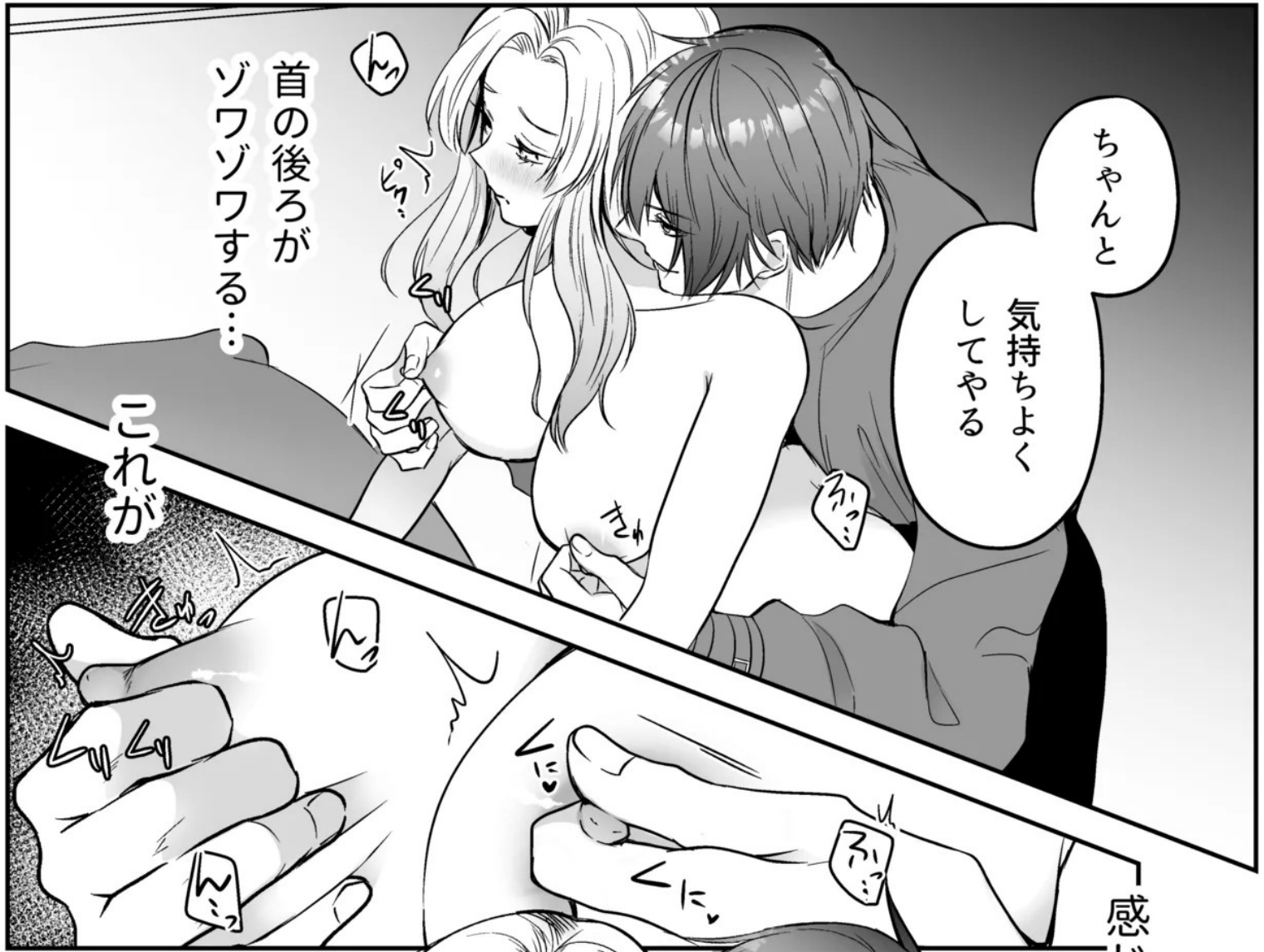
よし

そうだ

大人しくして  
いれば

悪いようには  
しない

× 100%



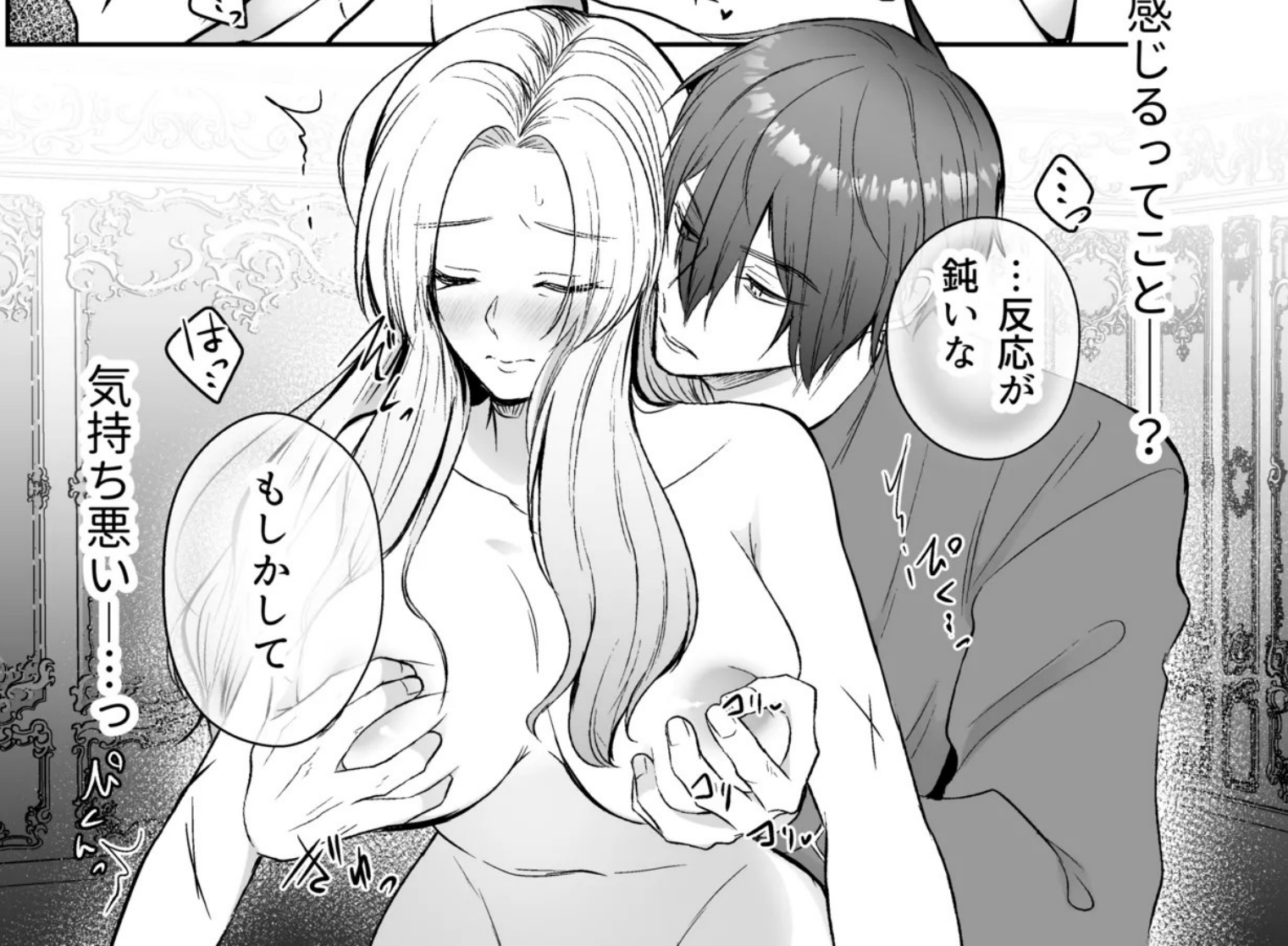
ちゃんと

気持ちよく  
してやる

首の後ろが  
ゾワゾワする…

これが

感じるってこと…？



…反応が  
鈍いな

もしかして

気持ち悪い…

処女か？



初めてだつて  
分かったら

は…

はい…



そうか

きつと優しく…

なら



さつさと挿れて  
終わらせるか

え……？

処女は反応も  
薄くて濡れにくい

そんなのに  
時間をかけても  
楽しくないからな

やめろ

カチ

カチ

カチ

締りは  
良いだろうから  
挿れてやる

よかったな

や……

ニヤ……



ヒク  
グ  
グ

ヒク  
ヒク  
ヒク

あ……っ！

動かないで……っ！

やめ……っ  
あっ……！

いっ……！

す  
す

す  
す

す  
す

す  
す

ヒク  
グ

痛いっ……！  
あっ……

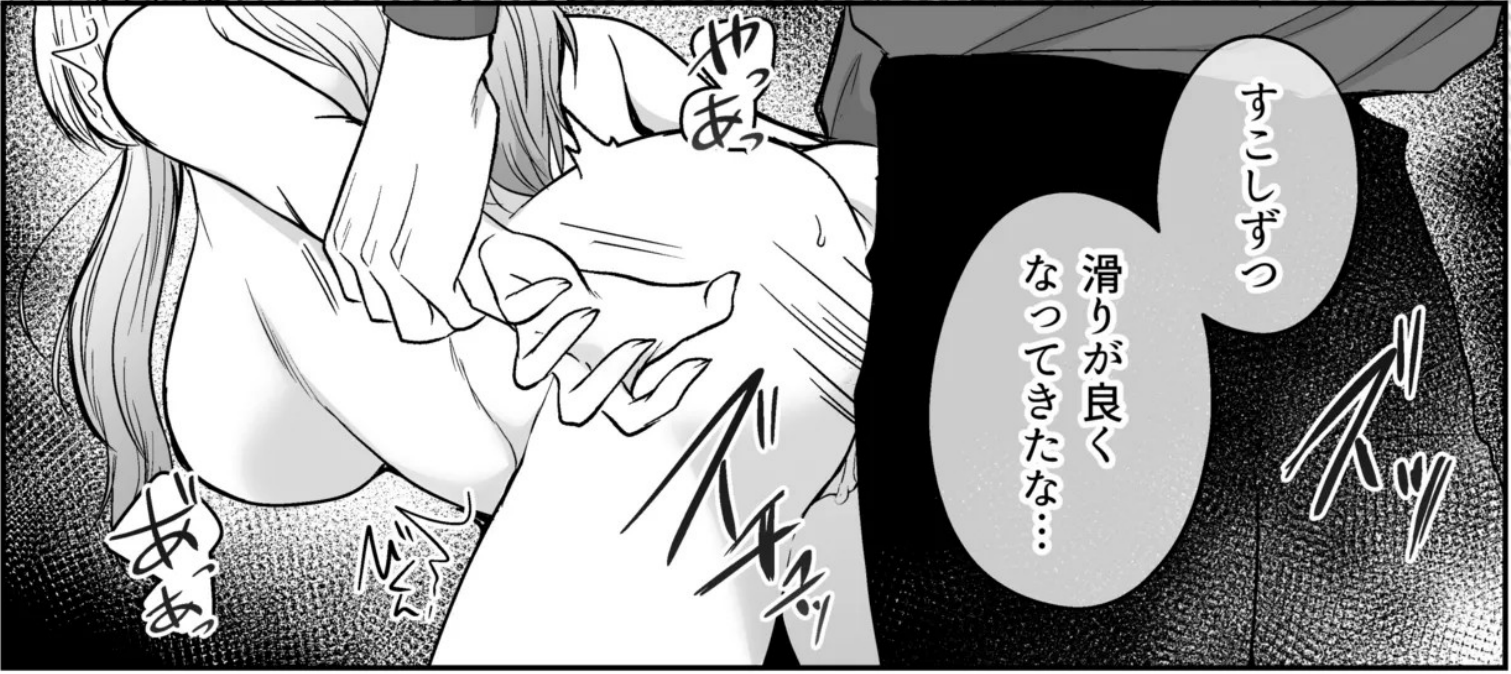
す  
す

す  
す



ちゅ  
ちゅ  
スグに良くなる

痛みなんて消えるぞ



すこしずつ  
滑りが良くなってきたな…

気持ちいいだろう？

あーだ

あーだ

あーだ

あーだ

出し入れされてるところが

あーだ

あーだ

あーだ

痛くて苦しくて

全然気持ちよくなってるのに

あーだ

あーだ

あーだ

声だけは

出ちゃうー

足を上げる

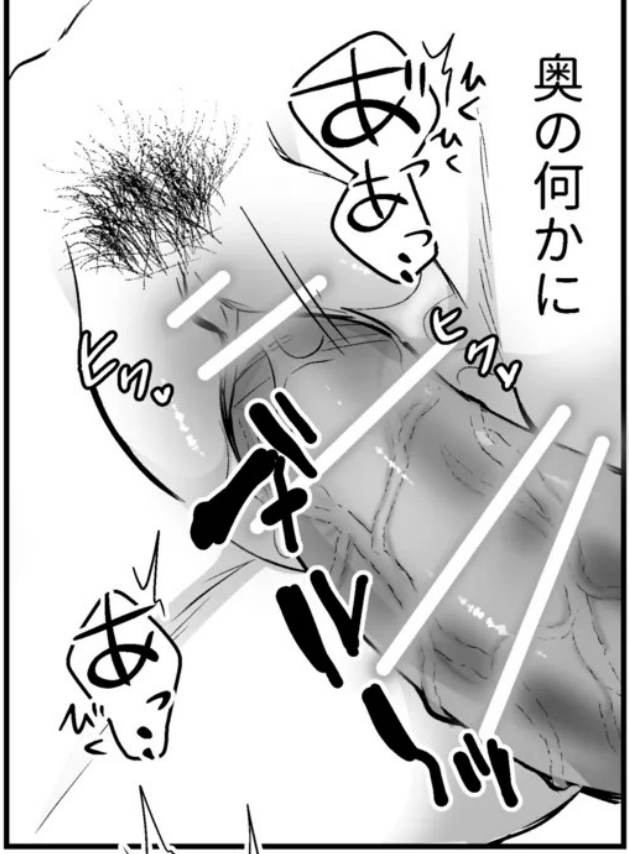
挿れてやる

もっと奥に

女  
の  
心



奥の何かに



当たってる…っ



いい声が出るようになったじゃないか

絶対にこんなので

もっと出せ

気持ち良くなんてなりたくない…!!



早く終わって…

ぽん

なかなかいい締めまりだ…

…そろそろ出すぞ！

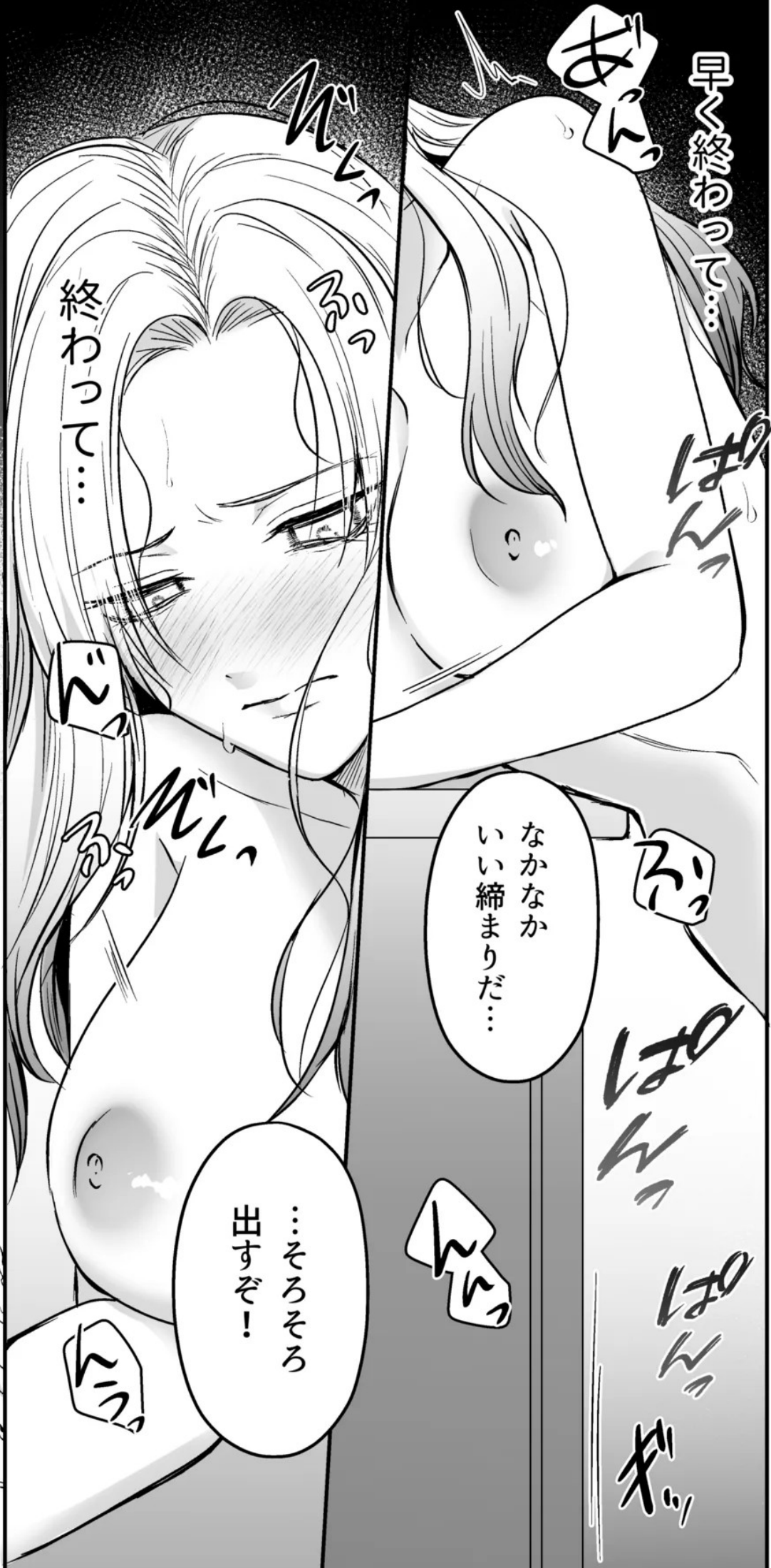
終わって…

終われ

……！

出エロク

出エロク





はあ

..ロト

はあ

びく

はー

はー

びく

びく



気持ち  
良かったらろう？

お前も最後に  
イイ思いが出来たな

最後

びく

ああそっういえば  
言っていないなかったか



お前をこの後

捨てに行く

え……？

国王の話は俺の結婚相手が  
決まった報告だった

言っておくが相手は  
お前なんかじゃない

エルフ国の  
皇女とだ

じゃあ

私は

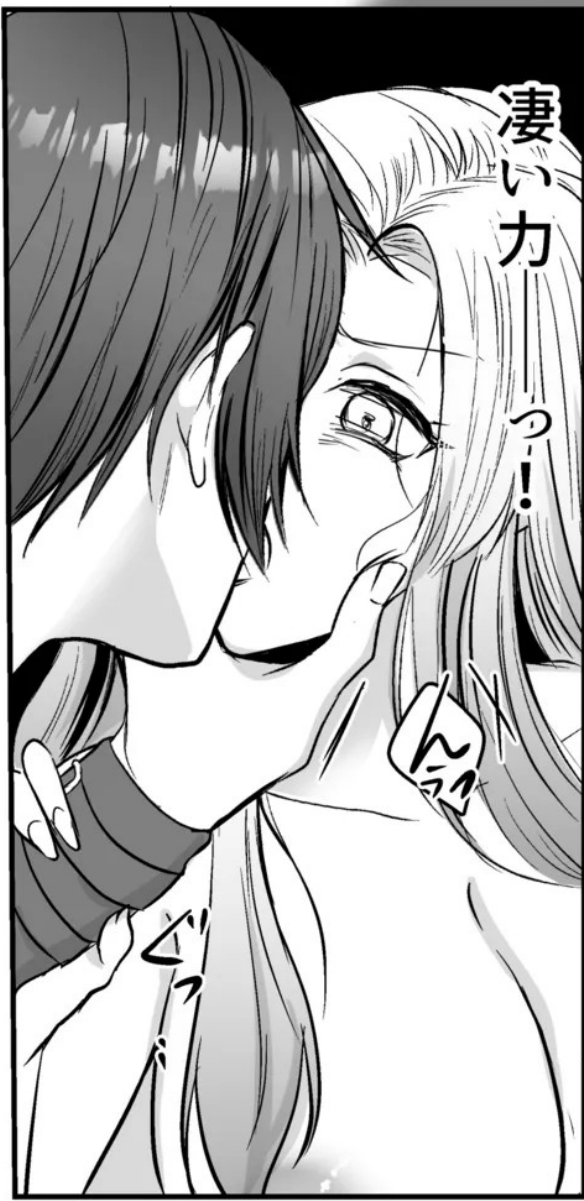
何の為に――

貴族とはいえ男爵位の  
令嬢なんかには手を出した  
とバレたら

相手に失礼だろうか？

このっ…!!

グッ



どろりとして

そういえば

1度エルフの皇女を  
見た事があるが

お前よりも  
綺麗な女だったぞ

誰も  
助けてくれないの

昔からずっと

ここで  
いいだろう

あまりいい思いは  
して来なかった

おいっ  
止める！



貴族の中では  
低い地位のせいで

上からは馬鹿にされ  
下からは妬まれる

どちらにも  
入れてもらえず

何度悔しい  
想いをしただろう

ガッ

ガッ

ポタッ

ダンッ

サッ



…でも  
そんな中でも

誰を妬むことも  
しないで

どうして

アハハハ

沢山の事を  
我慢してきたのに

ザッ

こんな仕打ち——



抑うつ...

はあ

はあ



グニニニニ

木の音

小さな幸せだけでは

ほら  
こっち！

こっちにねっ  
誰も知らない  
ひみつの場所があるのっ！

上書きできなからくらら

王子を  
お父様を

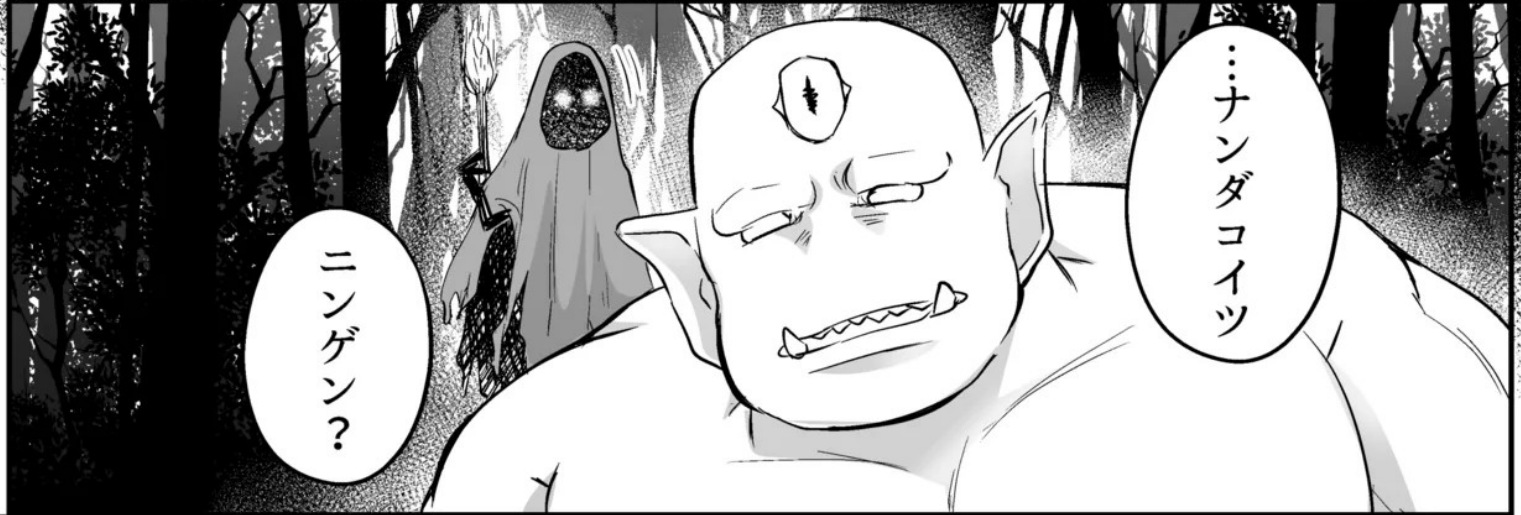
絶対に

この国を

許さない

復讐してやる

「  
#



100年前の条約を  
忘れたと言うのか!!

これは我々への  
冒涇だぞ!!

お前達もなぜ  
連れてくる!!

この城が  
汚れるだろう!

全く…  
最近の魔物は…

その恰好  
人間の中でも  
上の部類だろう

…面白い

魔王  
グラハム

良いものを  
持ってきたな

何故ここにいたのか  
話を聞こう



魔物……？

ここは……っ



目覚めよ

はっ

!!



まさか……

おい女



お前は どうして  
こちらの領土に入った

人間が侵入してはならない  
事は知っていただろう

やっぱり此処は

身なりから察するに  
貴族のようだ

そんなお前が  
此処にいる理由を

魔王城！

俺に話せ

知らない間に入ってしまった

あ…

人間の禁止領域

私…

殺されても

文句は言えない

…っ私は王国の王子に  
襲われ、用済みだと  
追放された

男爵の娘です…

父にも…誰にも  
助けられず  
頼るあてはありません


今までは  
我慢してきた…

でも、今は追放した国も  
あまりに憎く許せない



私は

王国に復讐する為に



此処にいます……!!

ぎょ

カカカッ!

貴族の女が  
『復讐』とは面白え!

気に入った!

俺の傍に  
置いてやる!



お前の部屋を  
用意してやろう

魔王城に住む——？

いっ……！

今日から此処に  
住むがいい

身体が……っ

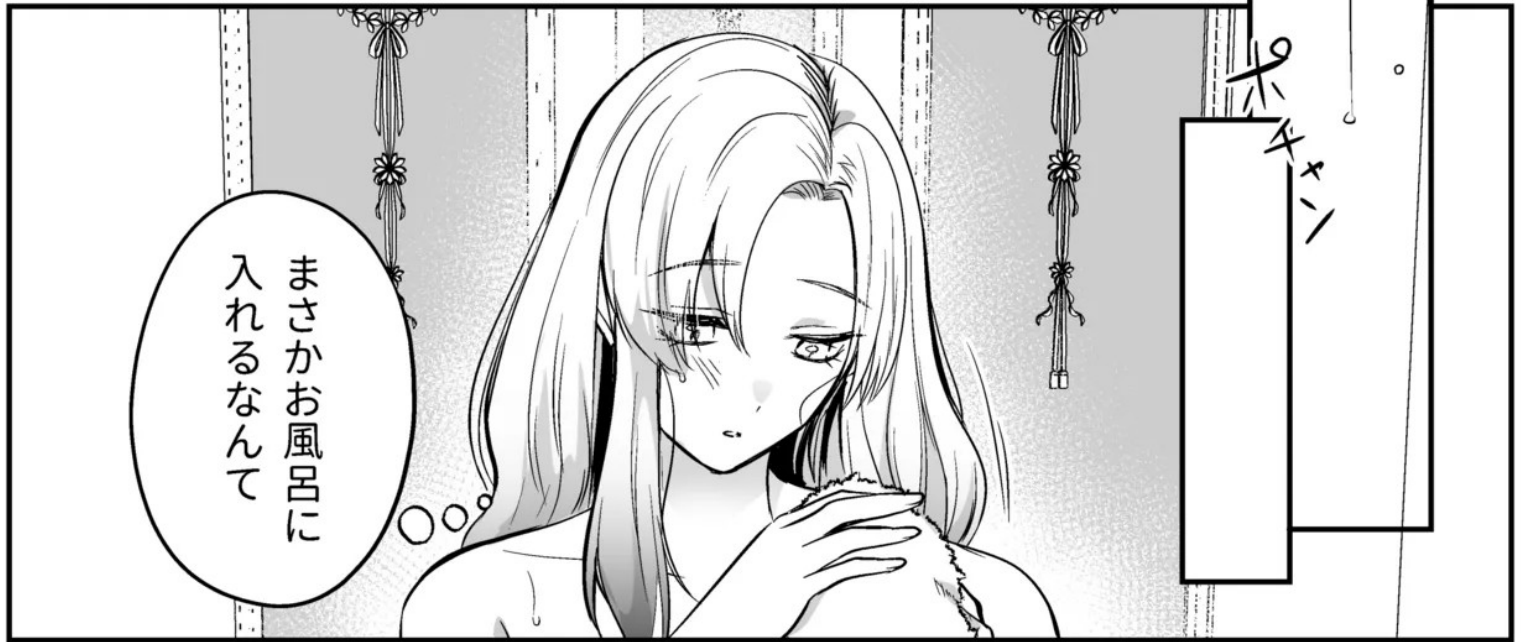
近ッ  
!?  
デカッ

なんだ  
身体が痛むのか？

安心しろ  
俺が治してやる

は、はい……

ズキン…  
ズキン



まさかお風呂に  
入れるなんて

ポキッ  
キーン



そのまま  
こっちに来い

はあ



あれ？  
服が無い…

スツキリはしたけど  
カラエッ



そんなもの  
要らん

あの…  
服って

治すってどうするんだろ

カチャ



えっ

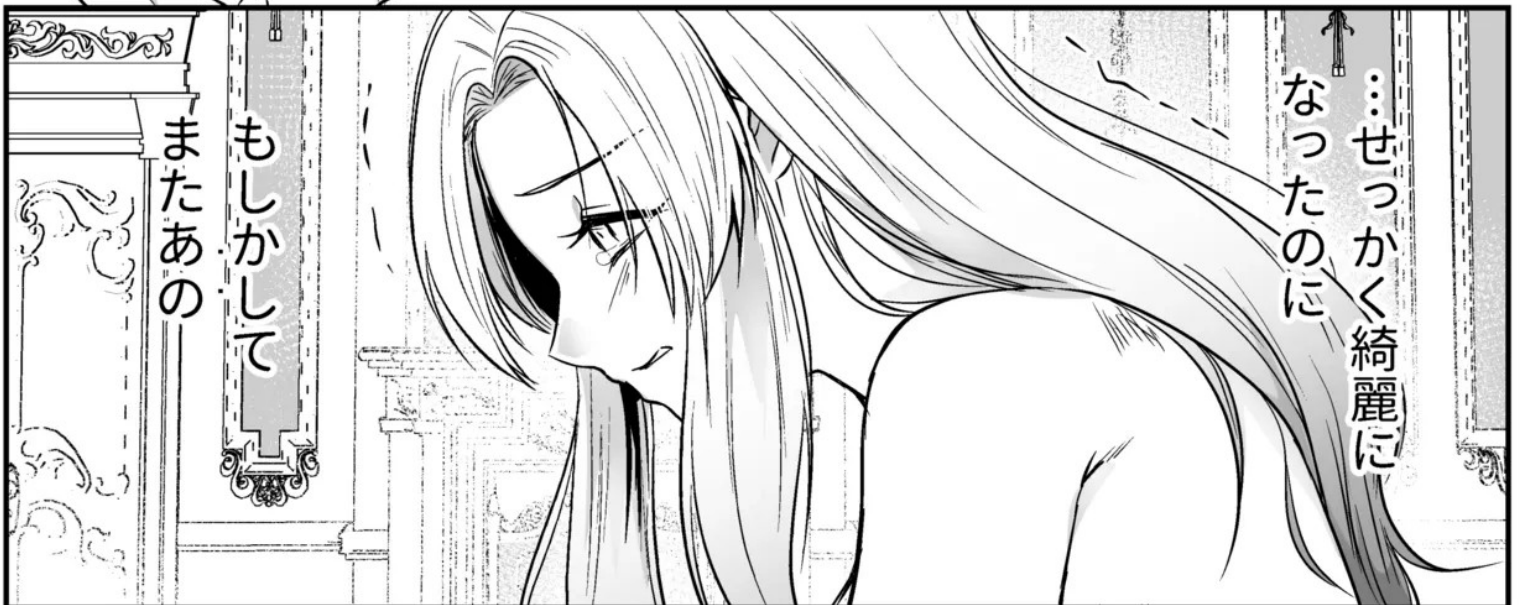
なんだ?  
治してやると  
言っただろう

おトッ

きゃー!  
やめてっ!

おトッ

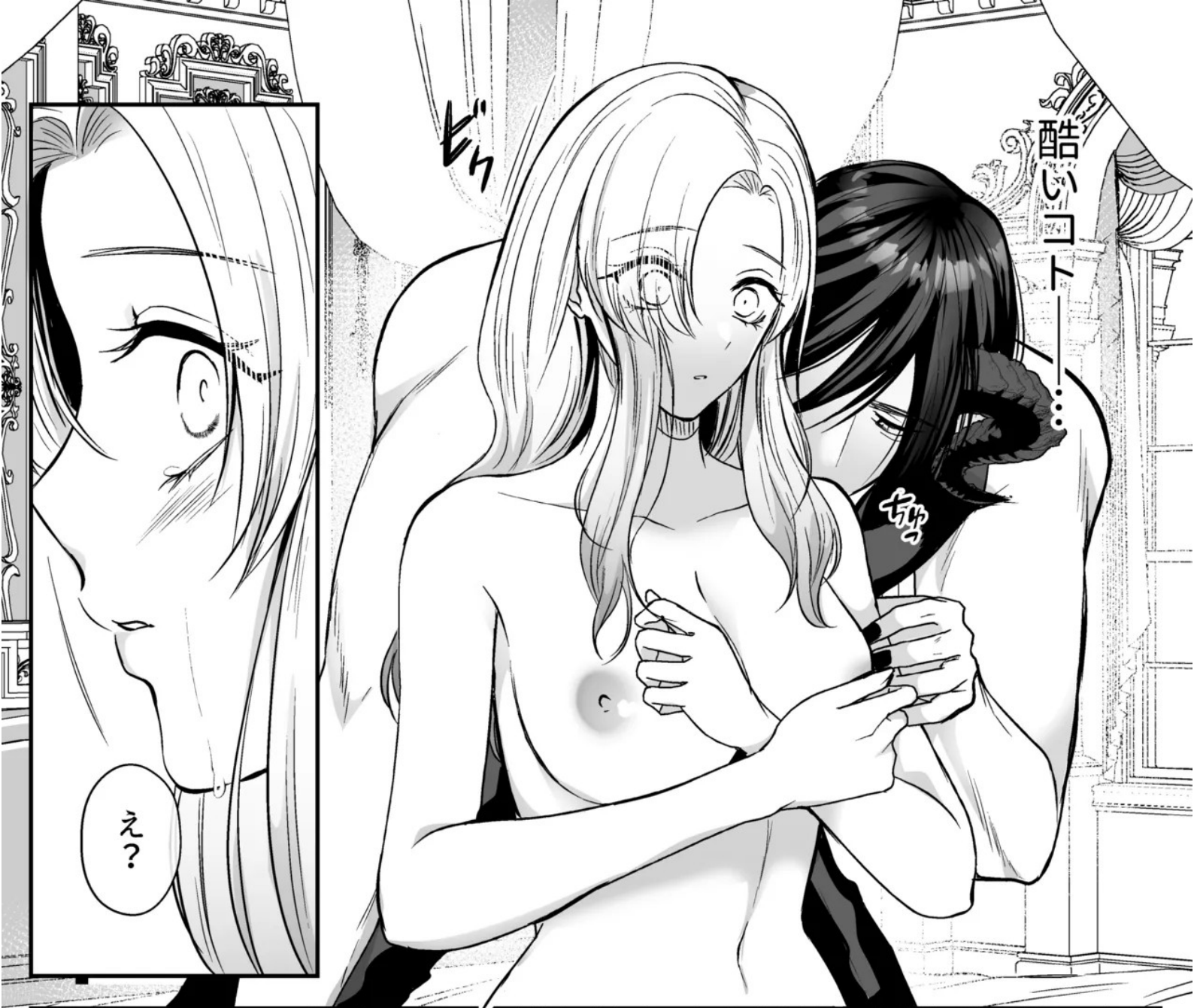
全く…  
世話のかかる小娘だ



…せつかく綺麗に  
なったのに

もしかして

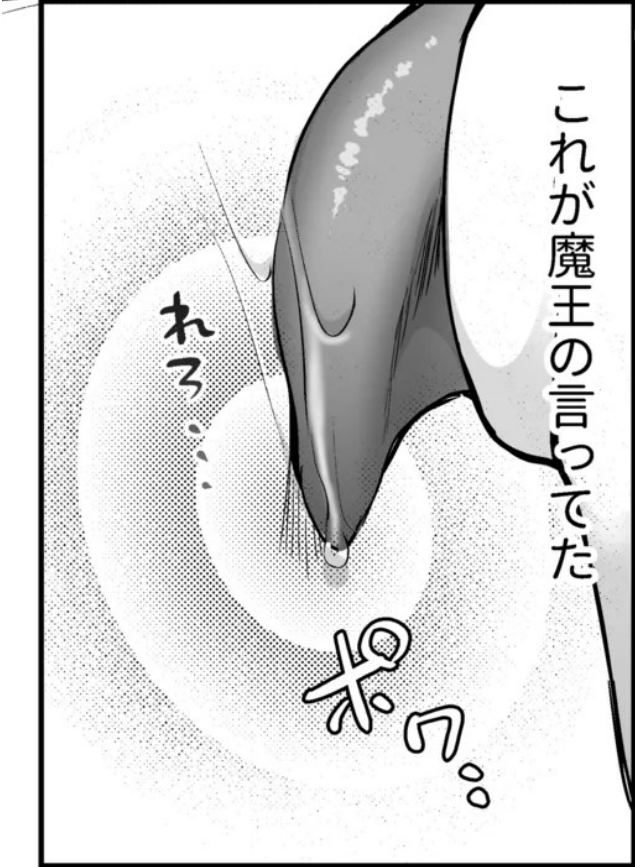
またあの



酷いロー...

ビク

え?



これが魔王の言ってた

ねろ...

ホッ



私の傷に

キスされてる...?

ビク

ちゅ

ちゅ...

ちゅ





ビーンツ



ズンズン

声がのちやっし……っ

「ひゅる」



今濡れてる……

ゆる

あ

私……

ゆる

いぢ……

びん





どうだ  
身体が軽く  
なっただろう



後ろはこれで  
大丈夫そうだな



軽くなるどころか

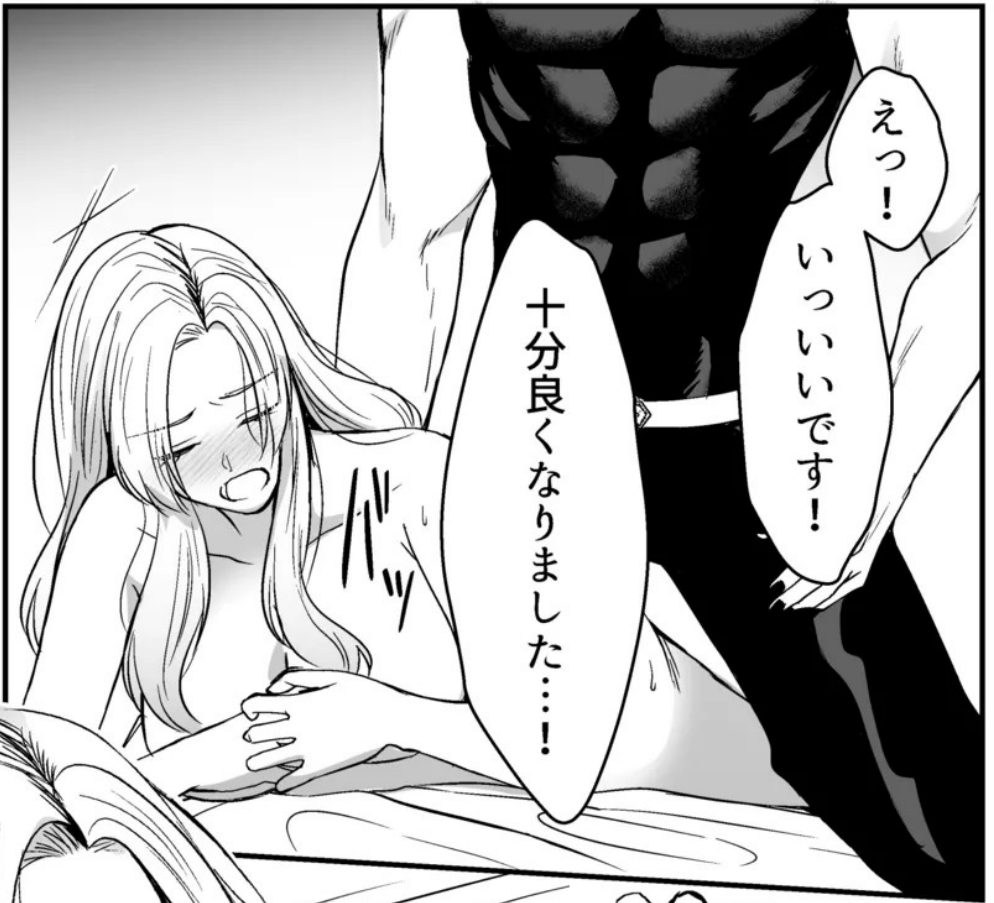
俺の体液は  
癒す効果がある



こっちを向け

次は前だ

奥が疼いて  
変になりそう…





カカツ

人間の女は  
こんなことで  
感じるのか？



感じてたのか



それとも

お前が  
感じやすいだけか

ココは別に  
傷ついてないだろう？

触る必要は  
ないんだがな



遊んでやろう

あんなに怖くて

あんなに怖くて

…悪くない反応だ

あんなに怖くて

あんなに怖くて

あんなに怖くて

王子との時は  
あんなに怖くて

あんなに怖くて

あんなに怖くて

あんなに怖くて

あんなに怖くて

あんなに怖くて

あんなに怖くて

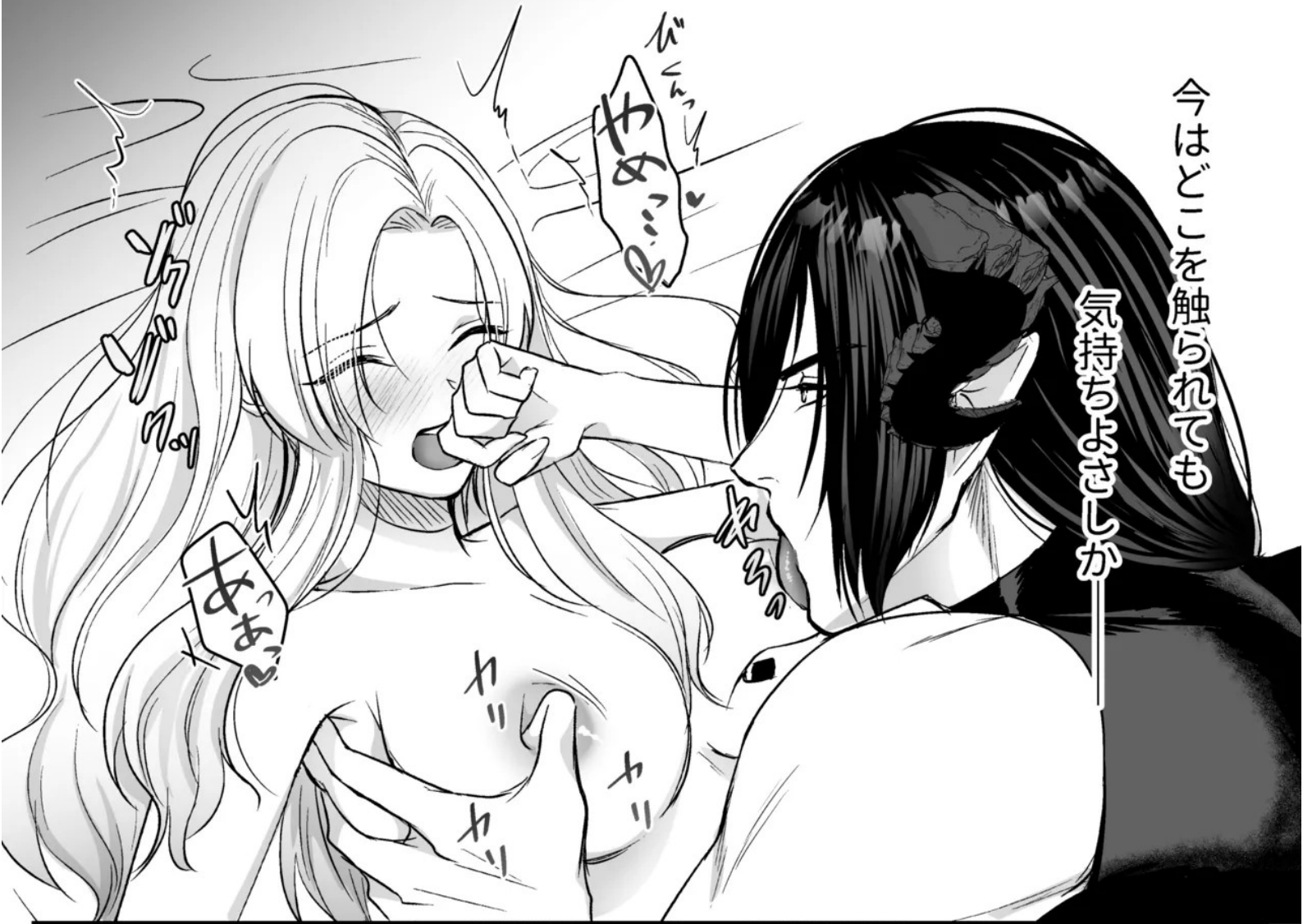
痛かったのに

あんなに怖くて

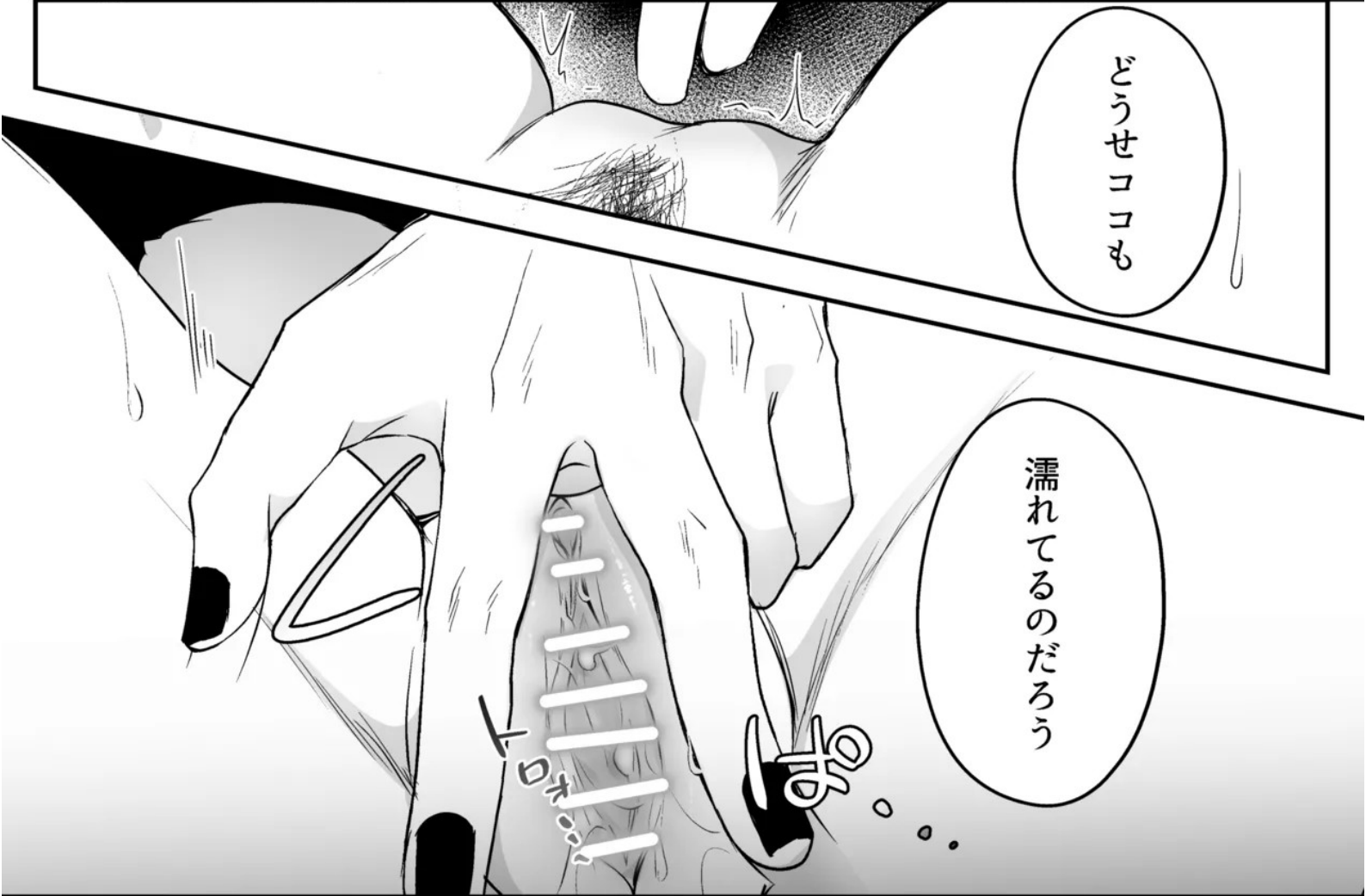
あんなに怖くて

今はどこを触られても

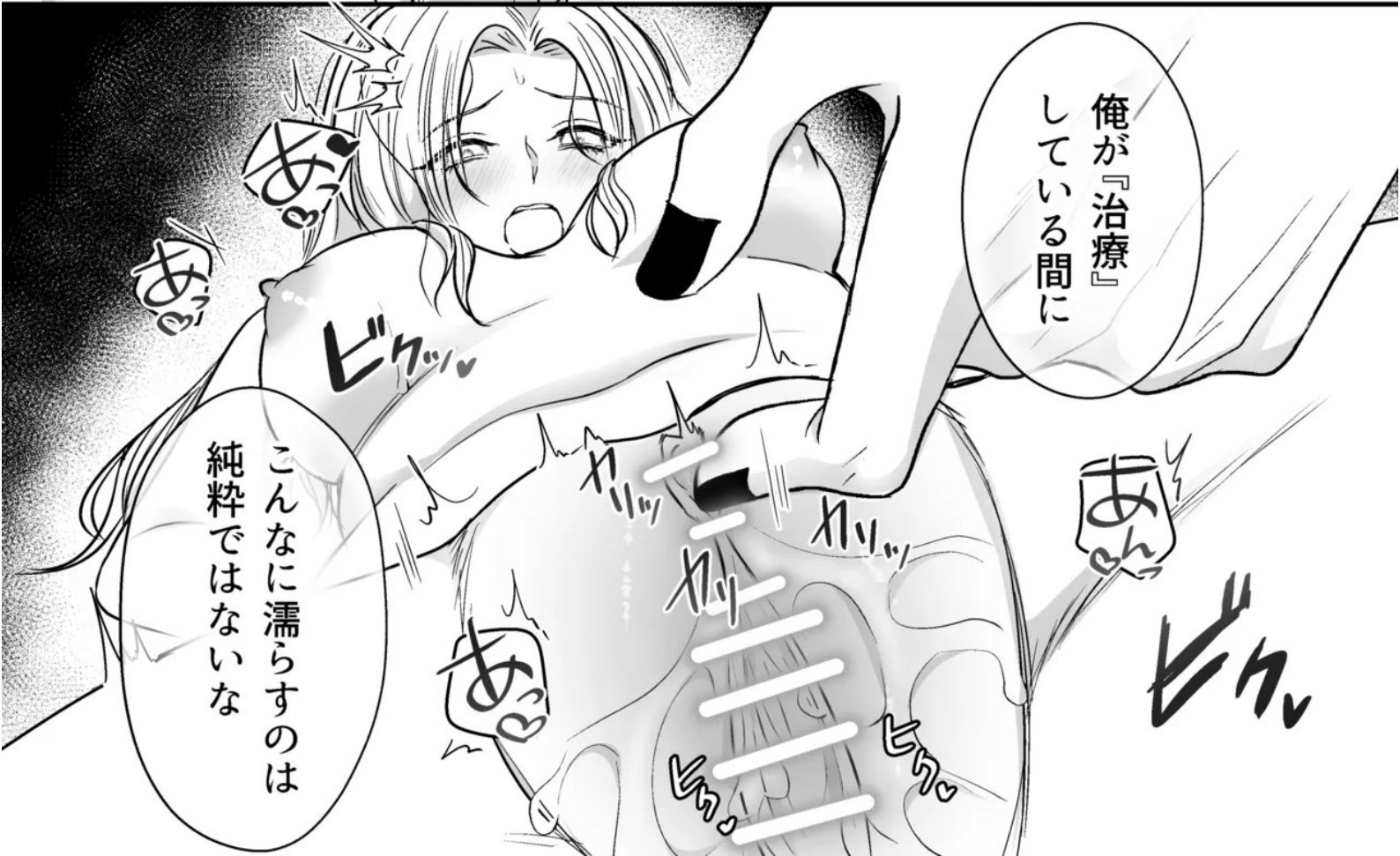
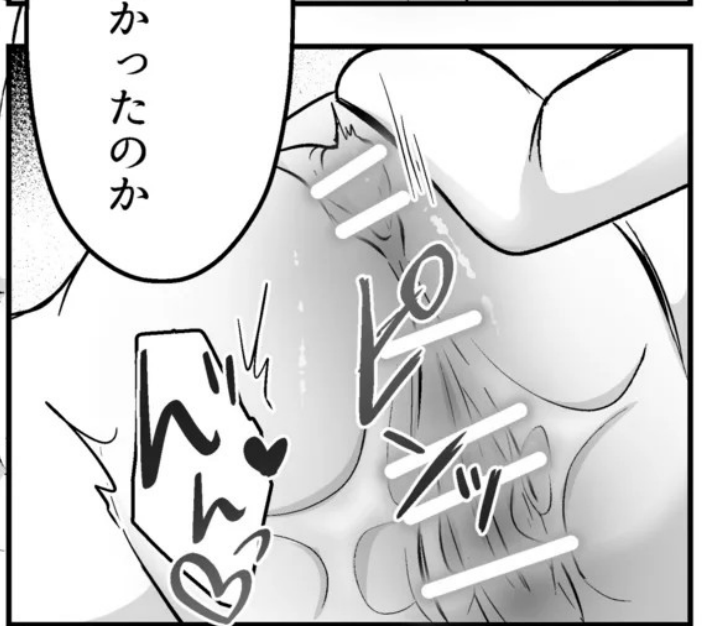
気持ちよさしか



どうせココも



濡れてるのだろう



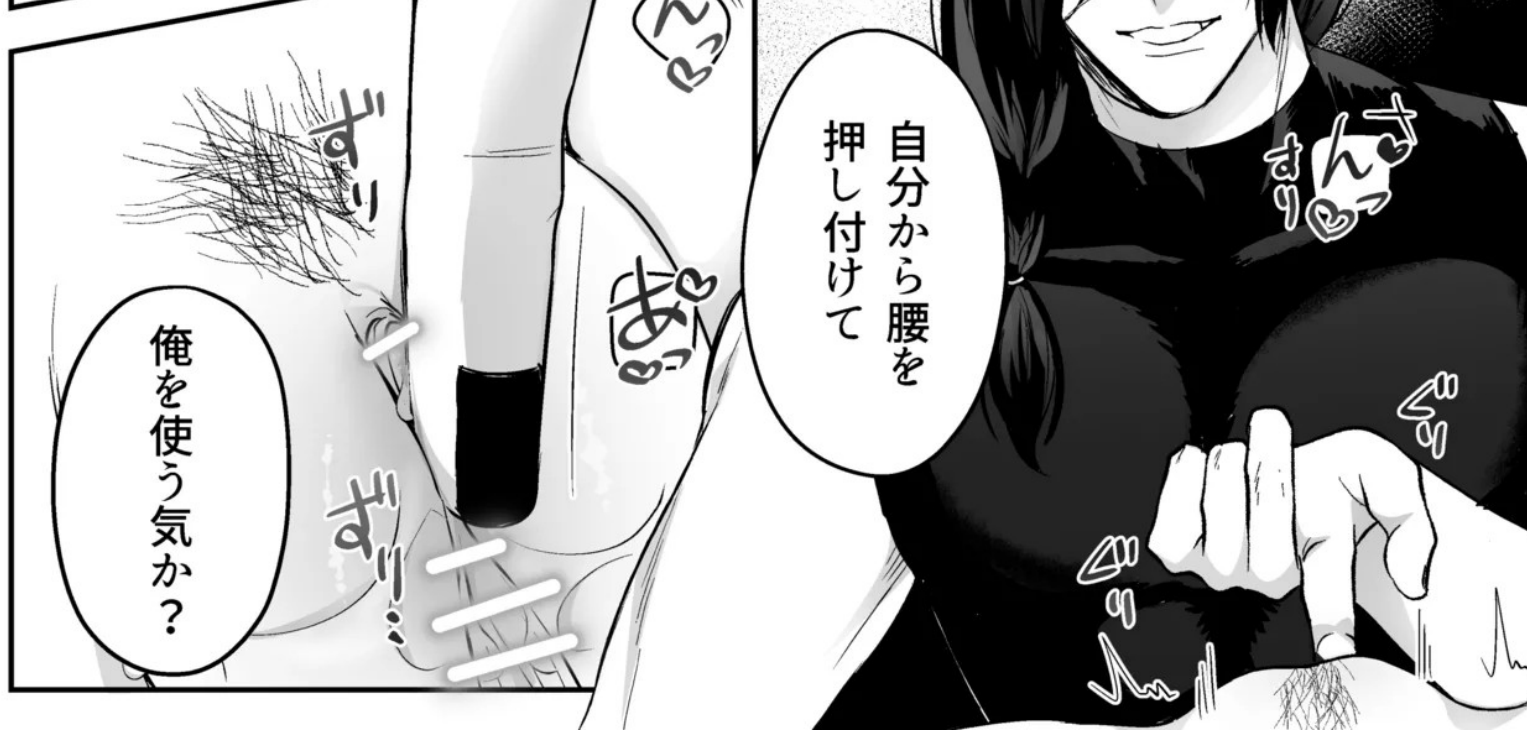
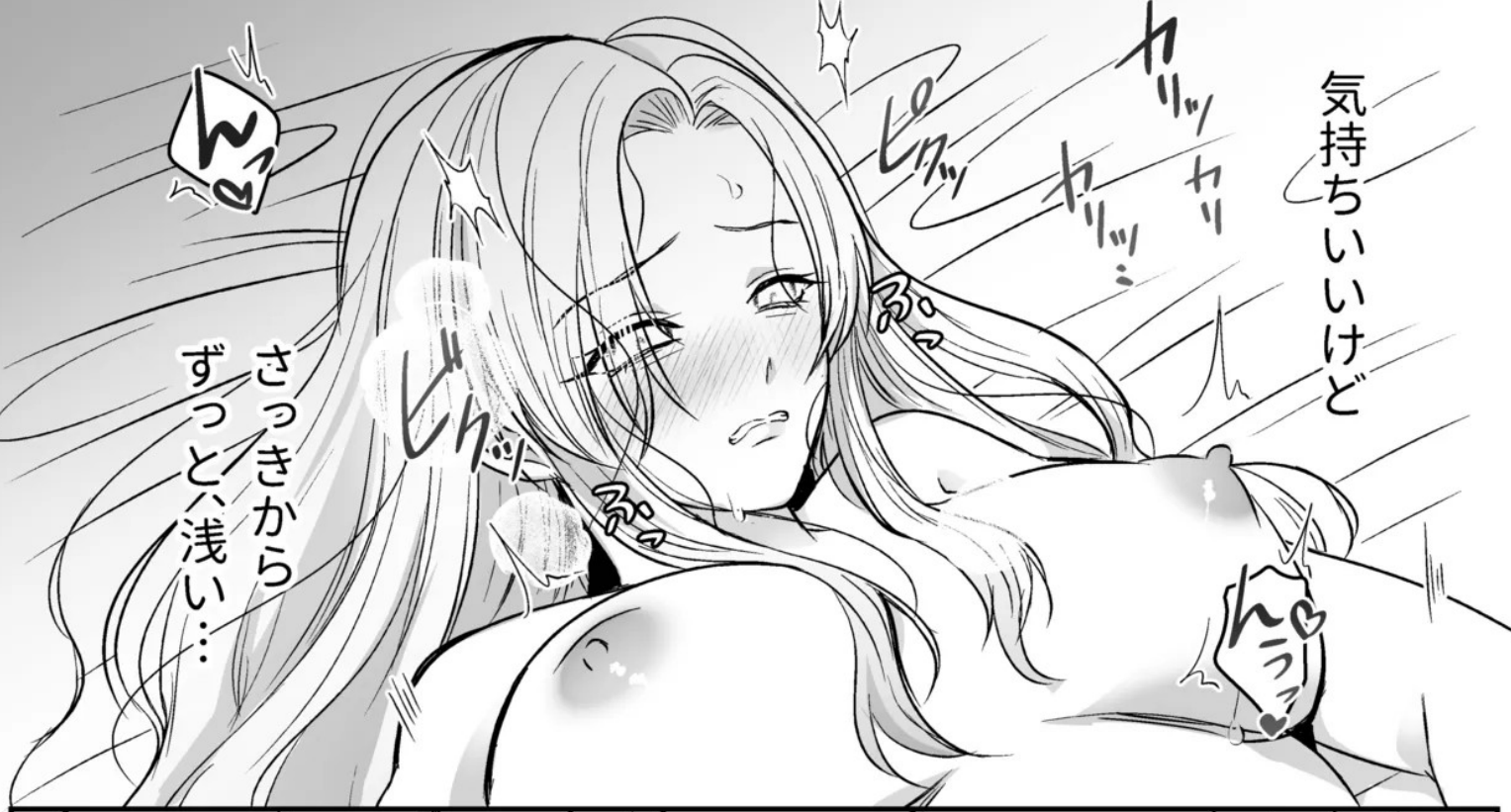
気持ちいいけど

さっきから  
ずっと浅い...

もっと  
押し付けて...

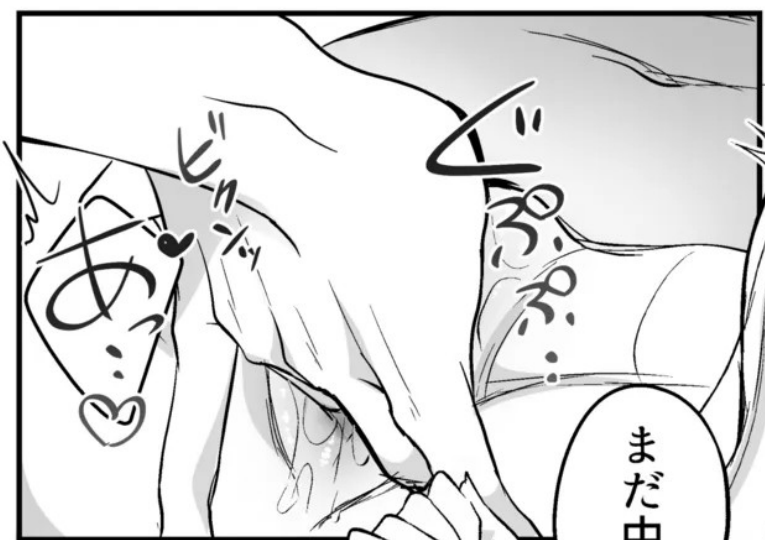
自分から腰を  
押し付けて

俺を使う気か？









まだ中を



勝手に満足するな



治していないだろう



気持ちよさで痛みが消えたか？

痛みは  
感じなくても

折角だ

しっかり  
治療してやる

外側から  
赤く腫れてるな

んんん

する

あ

ん

ん

ん





まずは  
ココからだな

魔王の舌で

唇で

吸われてる

はあ

はあ

そんなところ

見られる事なんて

ちゅ

今まで無かったし

ちゅ

も

舐められるなんて

あ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

あ

あ

あ

ちゅ

ちゅ



中の方が傷ついているようだな

ちゅる

ちゅ

もはめ

は

ちゅぽ

中もしっかり

ガク

ガク

痛かっただろう

おめ

ちゅる

治してやる









なまなま

あゝあゝ

ほっ

ほっ

叩っ

あゝ

あゝ

あゝ

ちゅる

ちゅる

あゝ

いや  
まだだ

奥が

あゝ





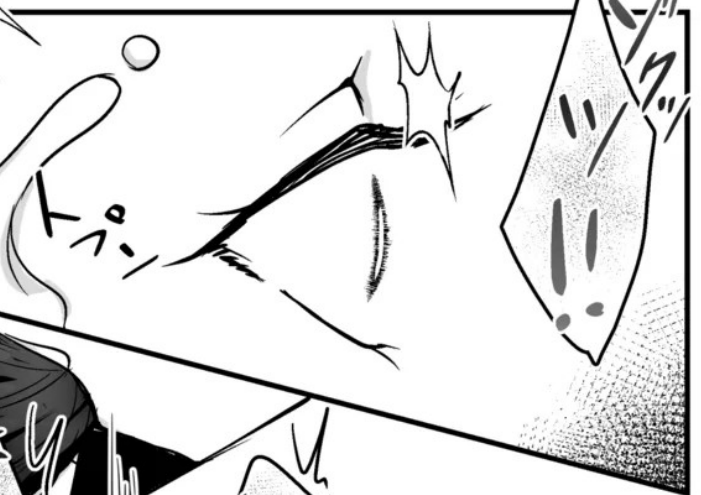
簡単にイクように  
なったな

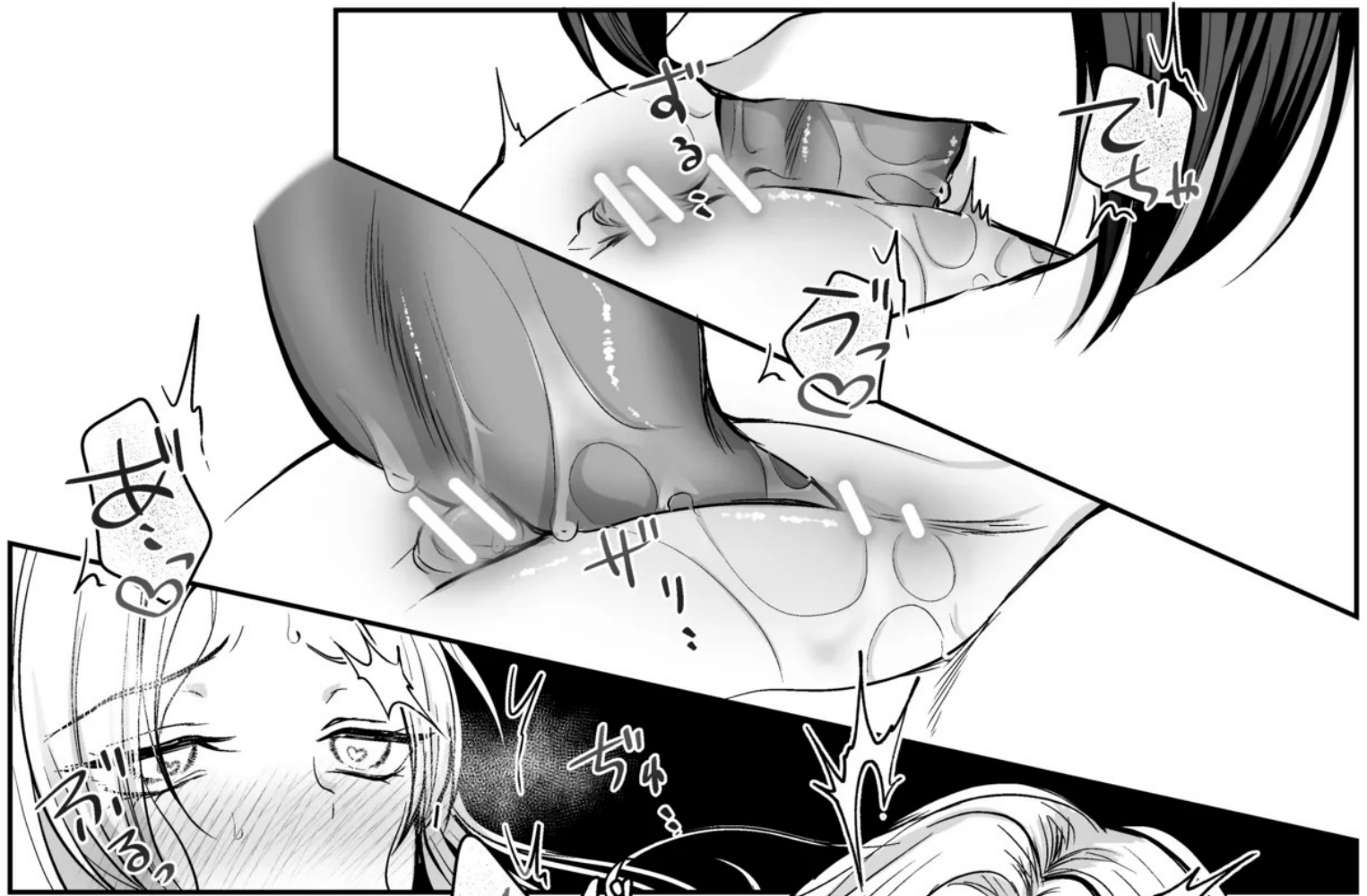
一体何回  
イけるんだ？

きゅん  
きゅん♡

息の仕方って  
どうするんだっけ

もう考えられない







覚悟はできて  
いるのだろう



この俺を濡らすとは…



な…

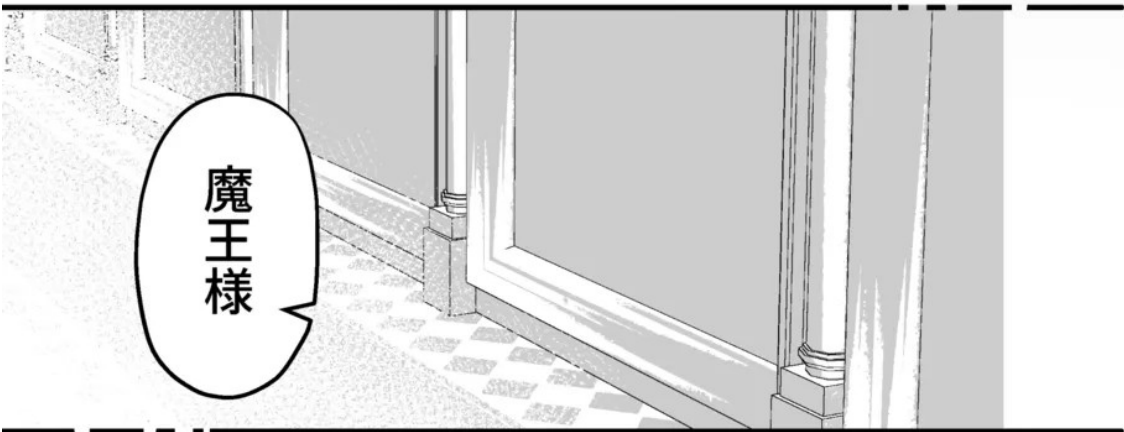


すー

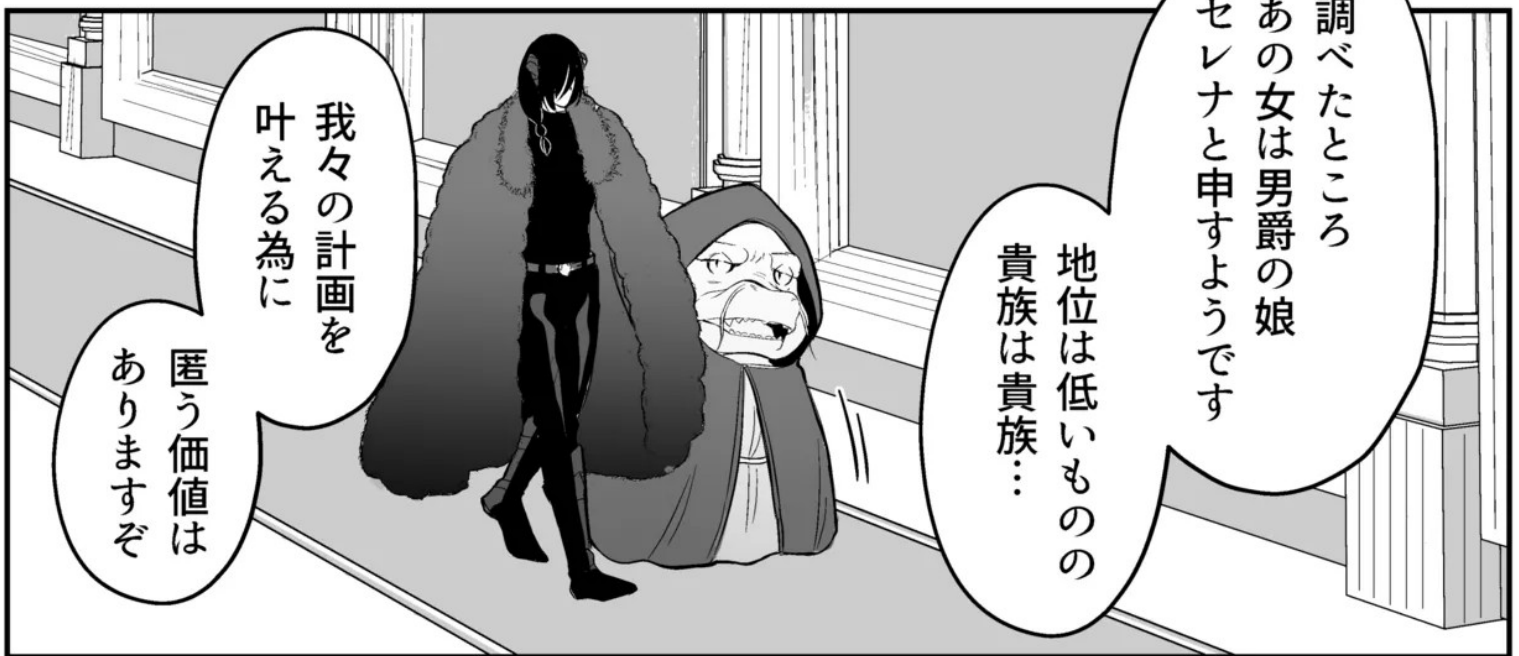
すー



この状況で眠るとは  
大した女だな



魔王様



調べたところ  
あの女は男爵の娘  
セレナと申すようです

地位は低いものの  
貴族は貴族…

我々の計画を  
叶える為に

匿う価値は  
ありませんぞ

ああ  
分かっている

もとより  
そのつもりだ

価値がある限り  
此处に置いておく

あの女……セレナの目は

本当に復讐を望む目……

きっと俺の役に立つ

それともう一つ……

王国の王子と  
エルフの皇女が結婚を  
するよう

あの人間が追放されたのも  
そのせいかと

どうやら俺にも

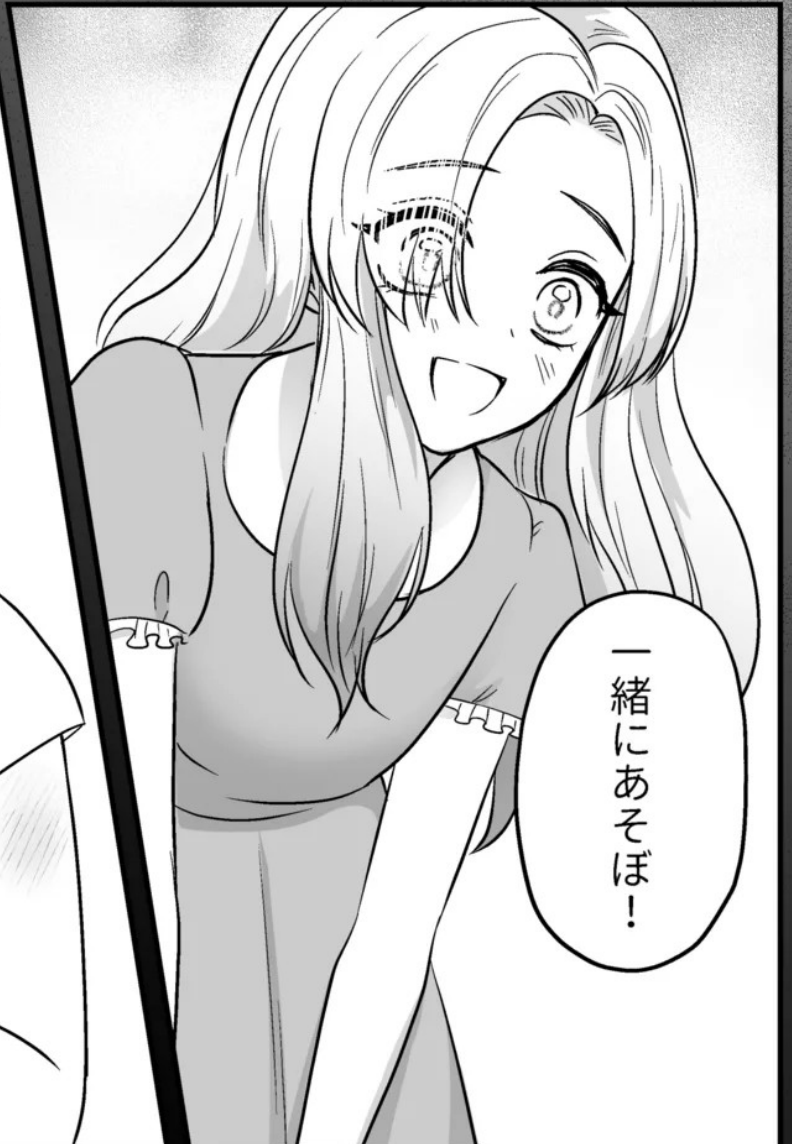
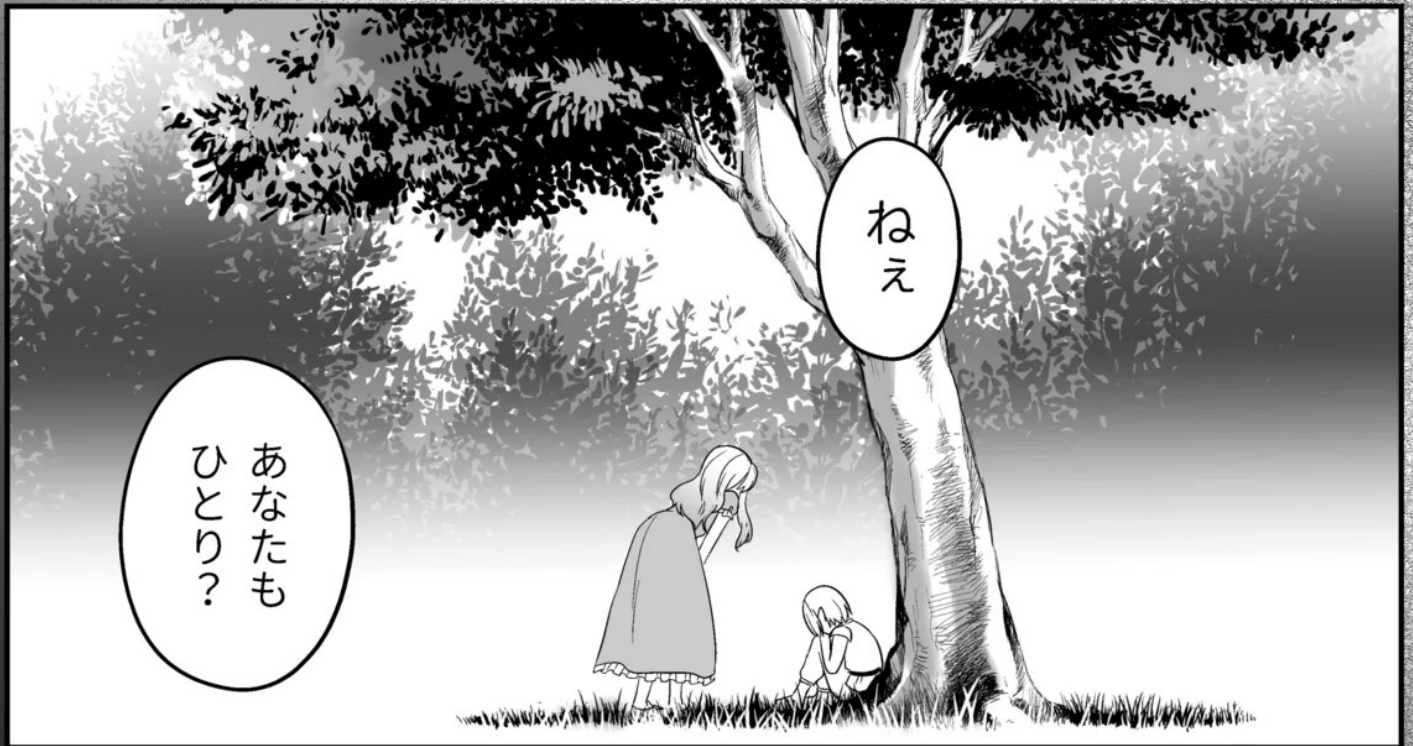
魔王様

今が好機ですぞ

エルフ国を

運が回ってきたようだ

攻め落とす…!!





こっちだよ!

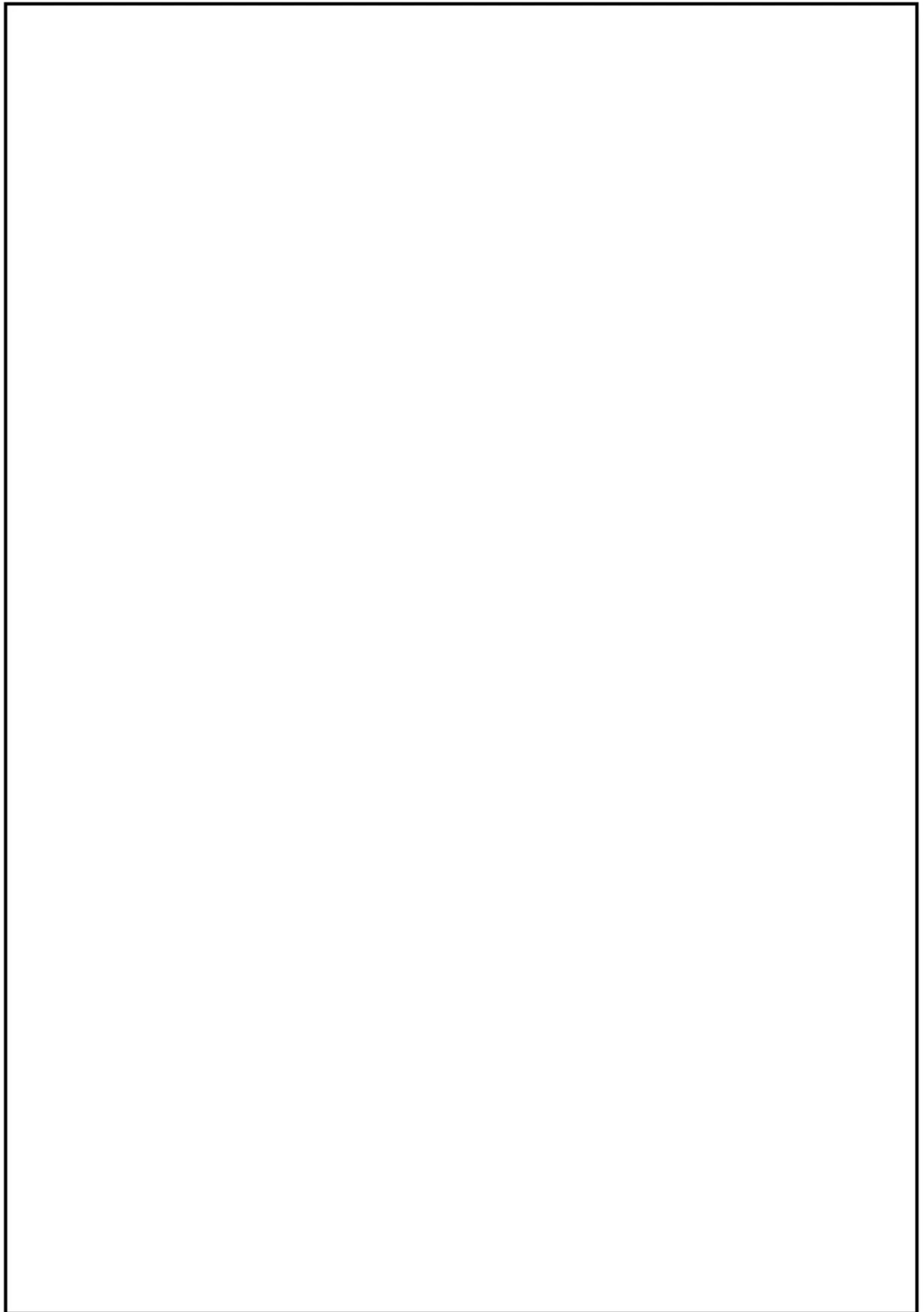
ほらっ

こっちにだれも知らない  
ひみつの場所があるのっ!



...うんっ!

to be continued...



## あとがき

この度はご購入いただきありがとうございました！  
自身22本目の作品、いかがだったでしょうか！

今作はファンタジーの世界観で  
ストーリーを作ってみたいなと思い  
描かせていただきました！  
王子、エルフ、魔王、そして  
令嬢セレナがもたらすストーリーの  
今後を、是非楽しみにしてください！

これからも色々な事にチャレンジしていきますので  
是非「柚子姫」を今後ともどうぞよろしくお願い致します！

月1～2本を目安に新作販売予定です！

新作同人誌の進捗等はTwitter又はpixivにて公開中！  
Twitter→@Yuzuki\_mikanz  
クリエイター検索:「柚子姫」R-18

2022/10/18

柚子姫